



電話番号 04-7133-3272

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第 9 項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 丸昭開発工事		
事業場の所在地	柏市高田1116-32		
計画期間	令和 6年 4月 1日 ~ 令和 7年 3月31日		
当該事業場において現に行っている事業に関する事項			
①・事業の種類	建設業 土木工事・解体工事		
②事業の規模	6.94億円		
③従業員数	10人		
④産業廃棄物の一連の処理の工程	作業所→ がれき類 →中間処理業者→委託処理 コンクリートガラ ASガラ 混合廃棄物 →最終処分		

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項			
(管理体制図) 本 社 ↓ 工事部部长 ↓ 各作業所長 処理計画作成担当者 ↓ 廃棄物処理責任者 廃棄物担当者			
産業廃棄物の排出の抑制に関する事項			
①・ 現状	【前年度（ 令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7 種類	
	排 出 量	2045.6 t	t
	(これまでに実施した取組) がれき類などは建設副産物として再資源化できるよう努めたが 混合廃棄物で一部最終処分した。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	7 種類	
	排 出 量	2000.0 t	t
	(今後実施する予定の取組) がれき類や木くずなど建築副産物として再資源化できるように 努める。		
産業廃棄物の分別に関する事項			
①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 解体現場等において分別BOXを設置し出来る限り最終処分しない ように分別している。		
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃棄物の分別の徹底を強化し、再生利用がしやすい体制を作ってい く。		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①・ 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまで自ら再生利用を行ったことはありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も、自ら再生利用を行う予定はありません。		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①・ 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組） これまで自ら中間処理を行ったことはありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組） 今後も、自ら再生利用を行う予定はありません。		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①・ 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	これまで自ら埋立処分又は海洋投入処分など行ったことはありません。		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	（今後実施する予定の取組）		
	今後も、自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はありません。		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①・ 現状	【前年度（令和5年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	7種類	
	全処理委託量	2045.6 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	737.0 t	t
	再生利用業者への処理委託量	2045.6 t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	（これまでに実施した取組）		
	実績のある処理業者と委託契約し搬出される廃棄物が適正に処理されている事をマニフェストにおいて確認している。		

(第5面)

②計画	【目標】別紙3の通り		
	産業廃棄物の種類	7種類	
	全処理委託量	2000.0 t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	1800.0 t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	2000.0 t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0.0 t	t
	(今後実施する予定の取組)		
	がれき類等、建設副産物は再資源化できるように分別の徹底を務め、 混合廃棄物の最終処分量は5%以内に抑制できるように努める。		
※事務処理欄			

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項(別紙1)

①現状 【 前年度(令和5年度)実績 】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック	建設混合廃棄物				合 計
産業廃棄物排出量	306.0	1302.0	427.0	4.0	2.64	2.0	2.0				2045.64 t

②計画 【 目標 】

産業廃棄物の種類	コンクリートガラ	アスファルトガラ	がれき類	木くず	廃アルカリ	廃プラスチック	建設混合廃棄物				合 計
産業廃棄物排出量	344.0	1250.0	400.0	3.0	1.0	1.0	1.0				2000.0 t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項(別紙2)

【 前年度(令和4年度)実績 】 ①現状

[illegible]

産業廃棄物の処理の委託に関する事項(別紙3)

【目標】

[illegible]



様式第二号の十四(第八条の十七の三関係)

(第1面)

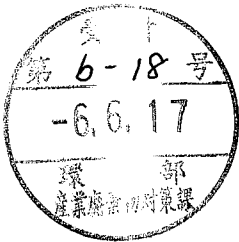
産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 6年 6月 日

柏市長 殿

提出者
住 所 柏市高田1116-32
氏 名 株式会社 丸昭開発工事
代表取締役 宮脇 秀仁

電話番号 04-7133-3272



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第11項の規定に基づき、令和4年度の
産業廃棄物処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社 丸昭開発工事
事業場の所在地	柏市高田1116-32
事業の種類	建設業 土木工事・解体工事
特別管理産業廃棄物処理計画における計画期間	令和 5年4月1日～令和 6年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

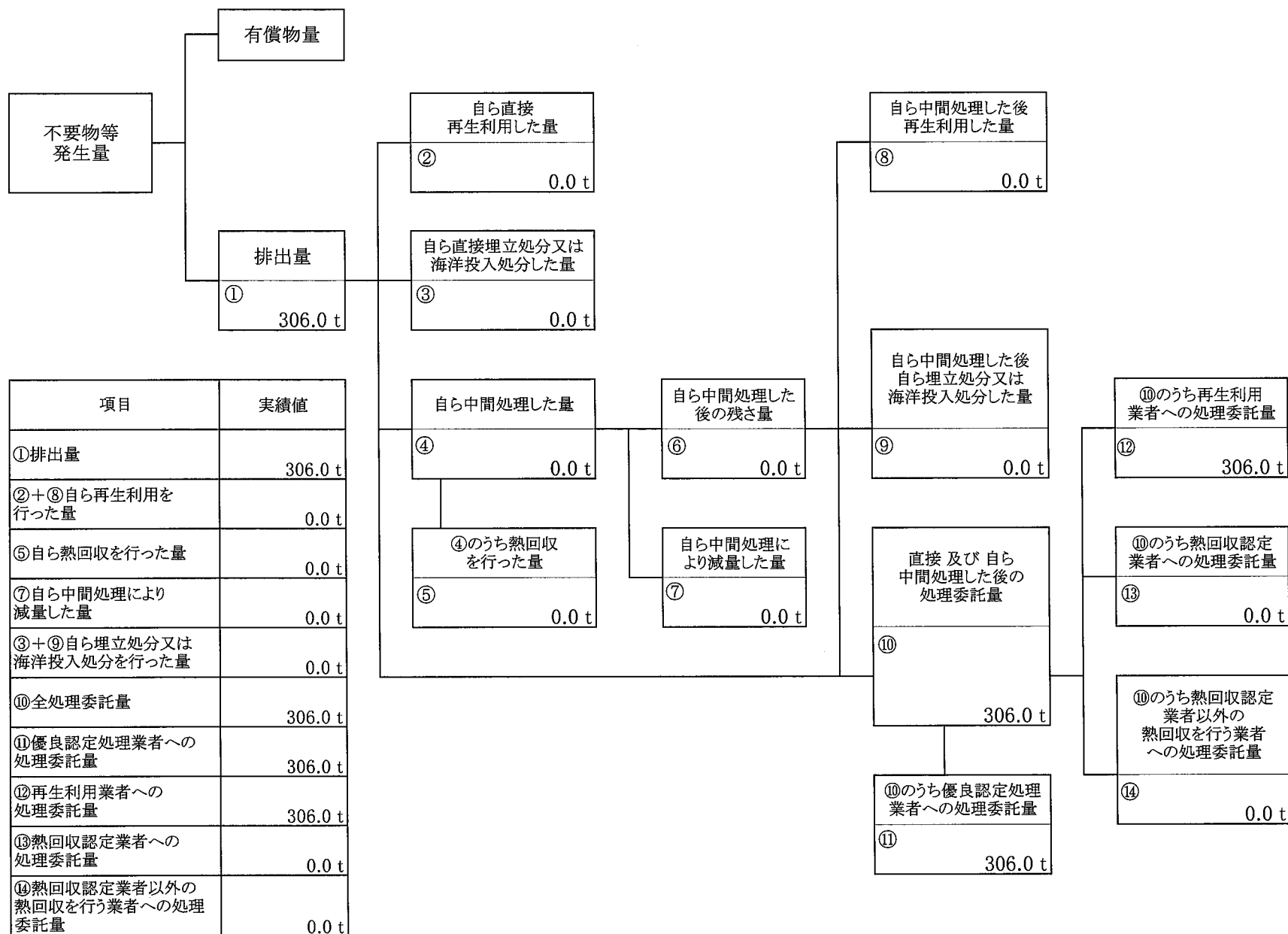
項目	目標値	項目	目標値
排出量	2045.6 t	全処理委託量	2045.6 t
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	0.0 t	優良認定処理業者への処理委託量	737.0 t
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0.0 t	再生利用業者への処理委託量	2045.6 t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者への処理委託量	0.0 t
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	0.0 t	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.0 t
※事務処理欄			

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

コンクリートガラ

)



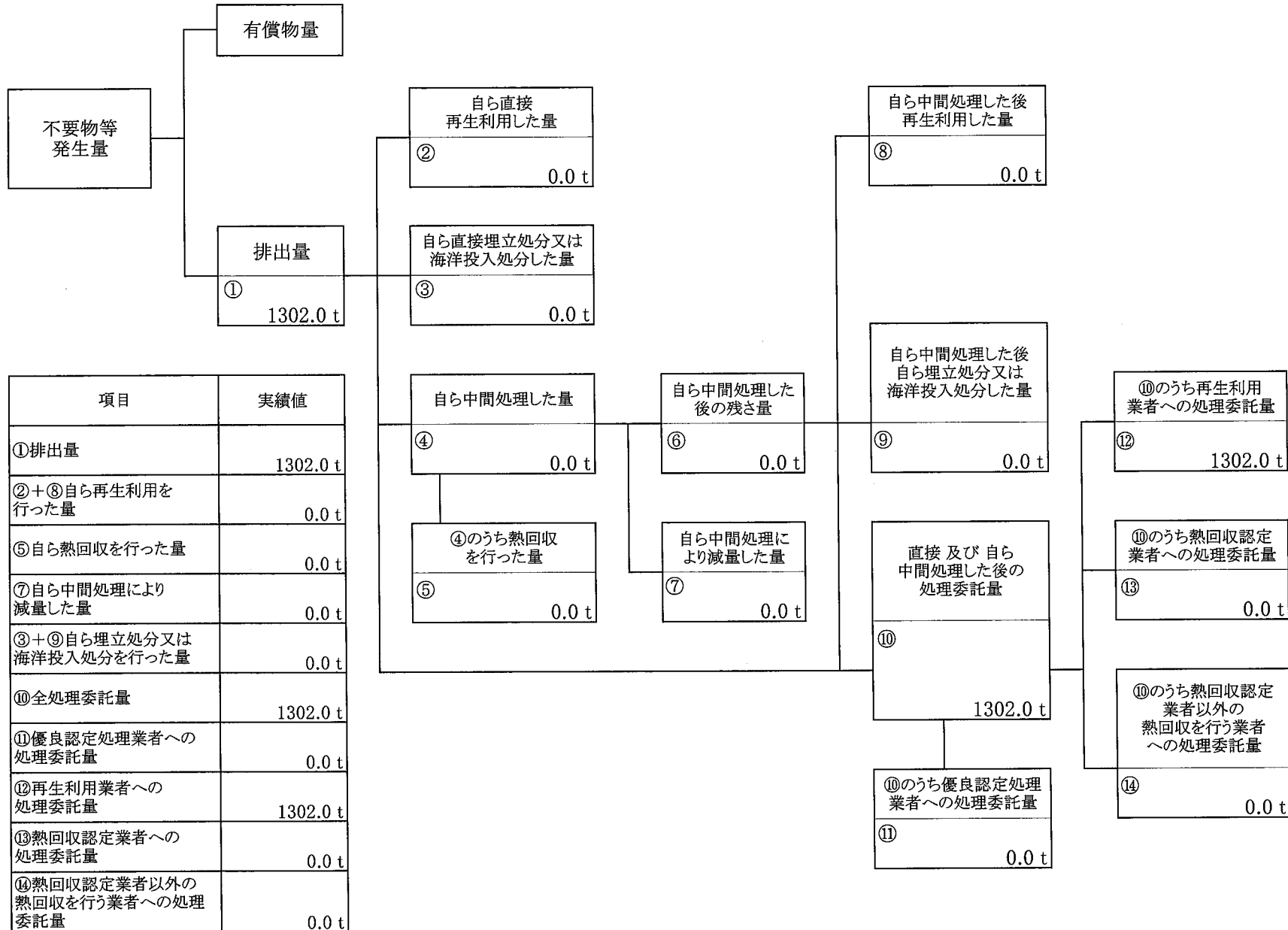
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

アスファルトガラ

)



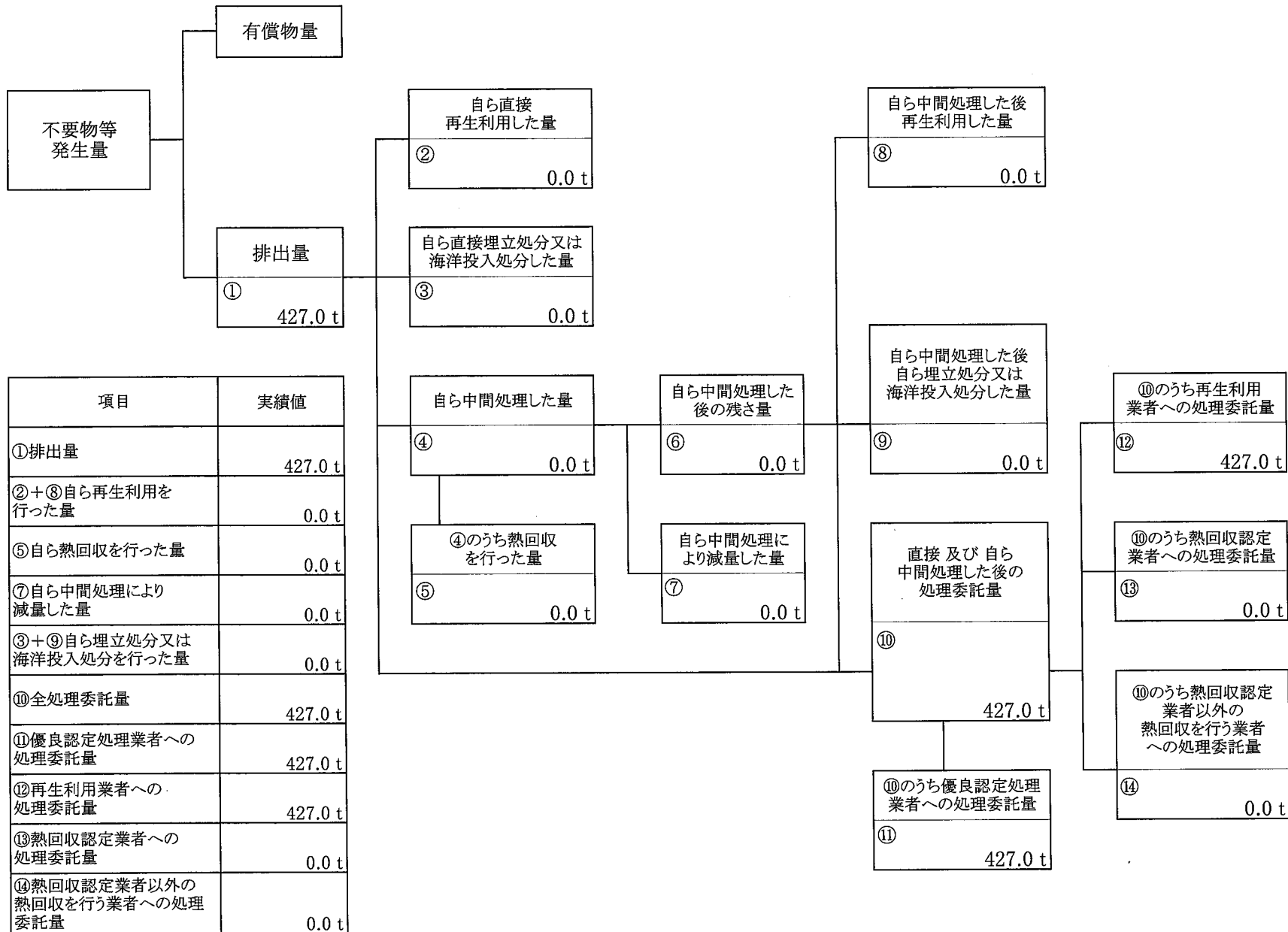
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

がれき類

)

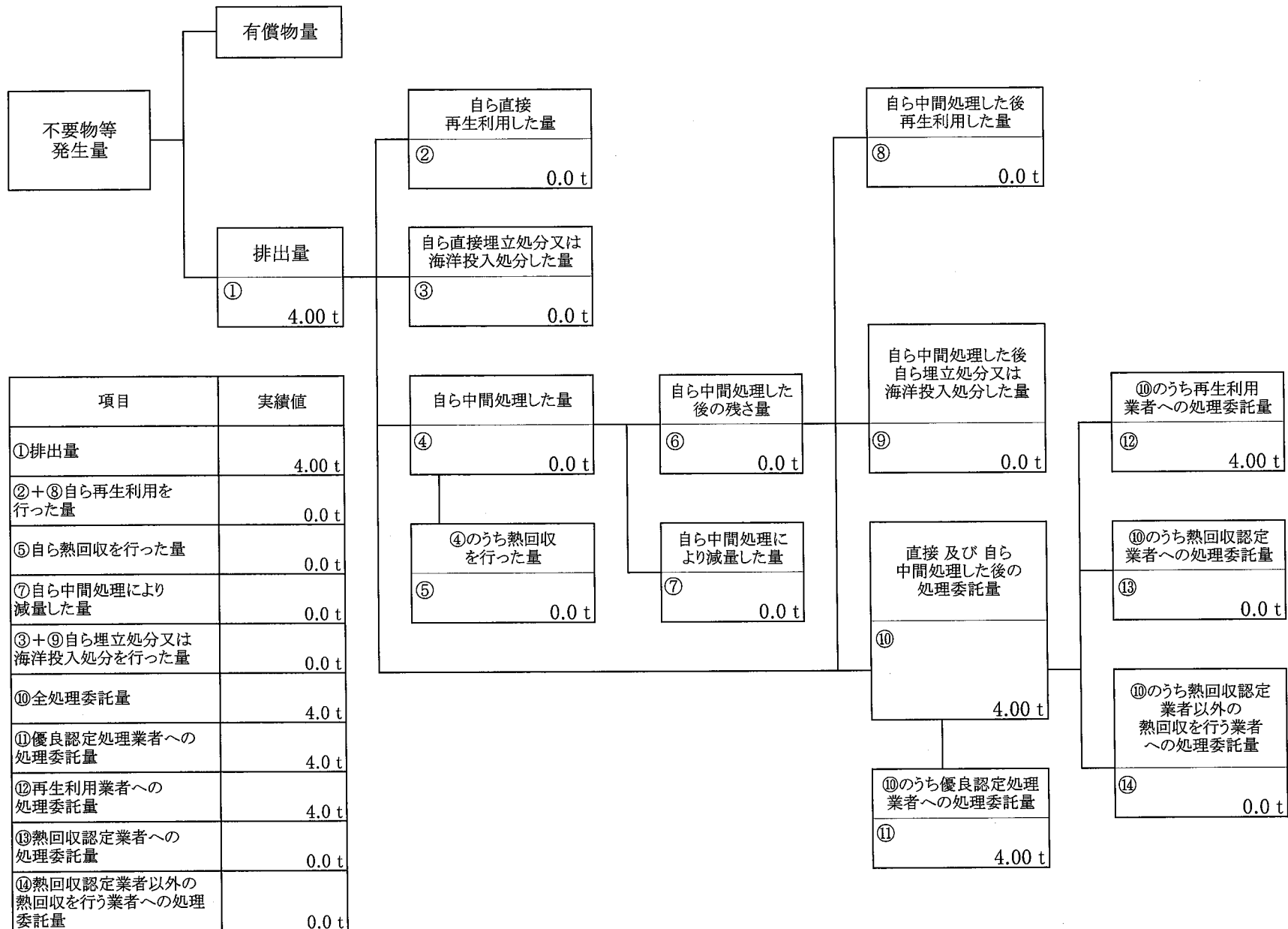


計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

木くず

)



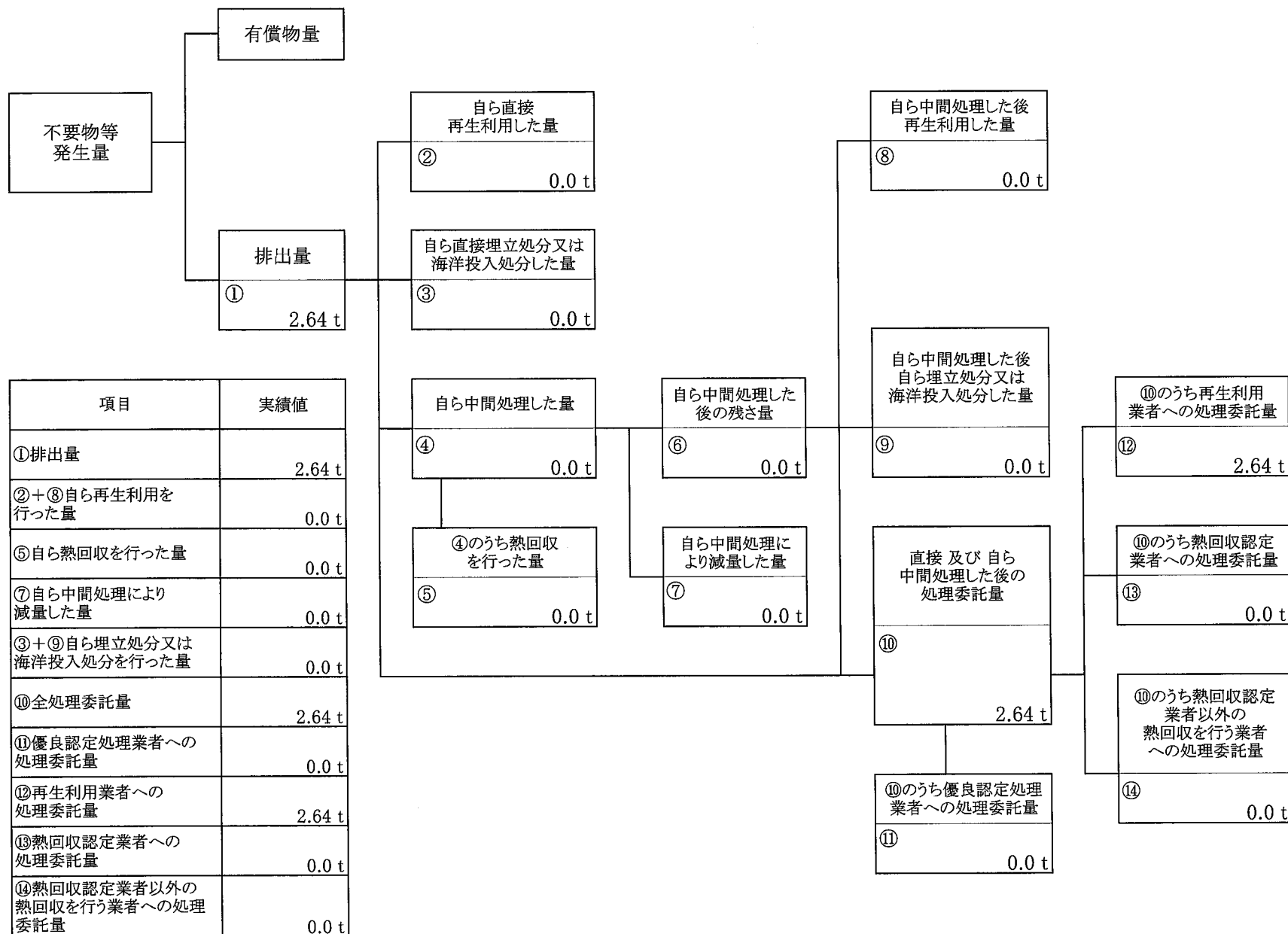
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃アルカリ

)

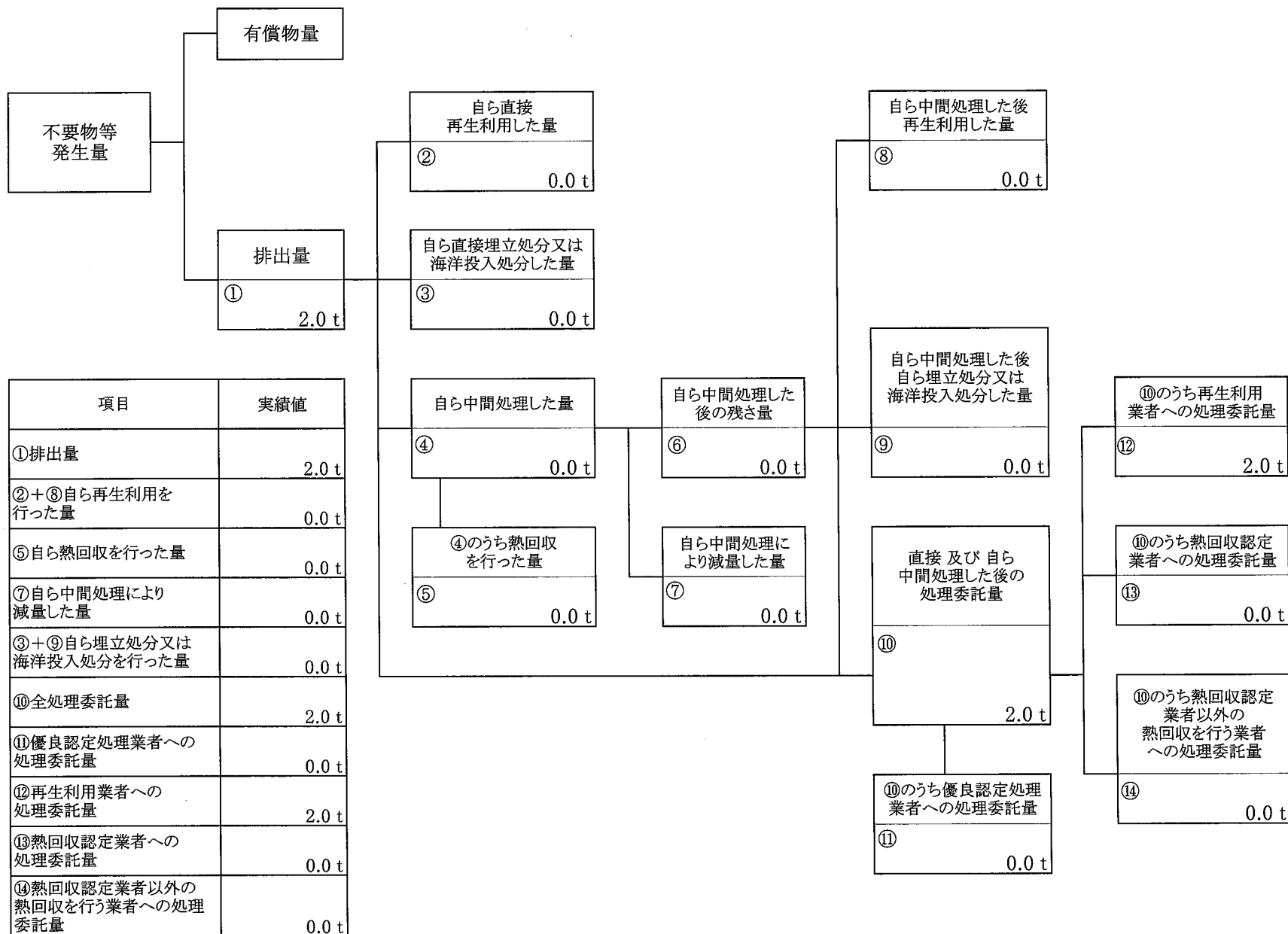


(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

廃プラスチック)



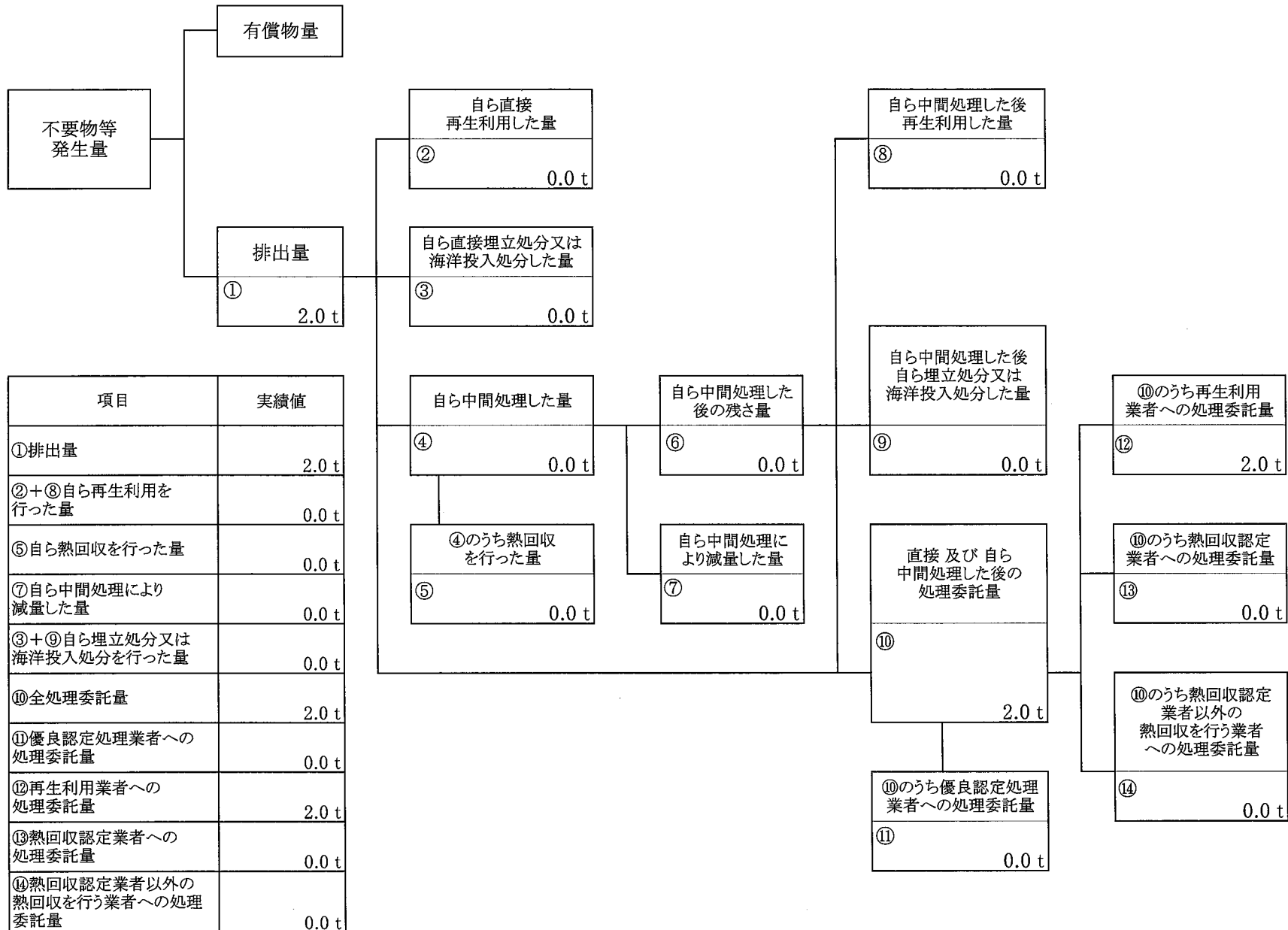
(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類:

建設混合廃棄物

)



(第2面)